




支 出 調 書

会派名	志翔会	代表者	経理責任者	起案者	
				森合 秀行 	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額			小 計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研 修 費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広 報 費	志翔会だより VOL.15 令和2年9月定例会特集 印刷代、新聞折込料	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)	392,639	報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)	384,002	ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広 聴 費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会 議 費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資 料 作 成 費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資 料 購 入 費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人 件 費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事 務 所 費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	R2年10月26日	現金出納簿 支出番号	17	合 計	776,641

支出明細書兼支出証明書

支出番号 17

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 3 広報費	4 広聴費		広報誌（紙） ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	志翔会だより 発行 印刷代				
内 容	志翔会だより 発行 志翔会だより VOL15 令和 2 年 9 月定例会特集 印刷代				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2 年 10 月 23 日	(株) 坂本印刷所		392,639 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共 通 (印)					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第 11 号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

年 月 日	担 当 者	伝 票 番 号
2020年10月23日		20102202

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 し-016

株式会社 坂本印刷
代表取締役 坂本 敏夫
〒963-0551 福島県郡山市喜望峯町4-1
☎(024)959-1234 FAX 024-959-1234

■取引銀行 東邦銀行郡山営業部 (管) No.210076 常陽銀行郡山支店 (管) No.705460 七十七銀行郡山支店 (管) No.5059470
東邦銀行郡山中町支店 (管) No.691663 大東銀行富田支店 (管) No.1332164 みずほ銀行郡山支店 (管) No.1371534
郡山信用金庫本店 (管) No.162114 福島銀行開成支店 (管) No.1039499 郵便振替口座02160-6-9928

毎度ありがとうございます。

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
志翔会だより (カラー刷り) 折込87800枚+手配り2200枚	90,000	部	外10 3.99 円	359,100 円	
摘要				合計 359,100 円	税額 35,910 円
				総額	¥395,010 円

領 収 証

No. R20102204

2020年10月23日

合計金額 ¥395,010
税抜金額 359,100円 消費税 35,910円

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 し-016

上記の通り正に領収致しました。

株式会社 坂本印刷
代表取締役 坂本 敏夫
〒963-0551
福島県郡山市喜望峯町4-1
TEL. 024-959-1234 FAX 024-959-1234
担当者

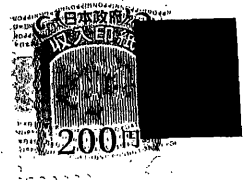
内 訳	金 額
現金	395,010
小切手	
振込	
手形	
相殺	
振込手数料	
その他	
合 計	395,010

備考:

手形期日:

手形No.:

摘要:



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$381 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 416,052 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} 20 \text{ mm} \times 24 \text{ mm} \times 5 \text{ か所} = 2,400 \text{ mm}^2 \dots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.6 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 395,010 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.6 \% = 2,371 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 395,010 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 392,639 \text{ 円}}}$$

郡山市議会 志翔会 令和2年9月定例会議会報告

令和2年9月定例会の概要

令和2年9月定例会は、9月2日に開会し、9月17日の本会議（補正予算等先議）で当局から提案された議案について全て可決し、9月24日から、令和元年度決算特別委員会が開かれ9月29日に、提出された令和元年度決算認定等議案について全て可決及び認定し閉会しました。

可決された9月補正予算の主な内容

新型コロナウイルス感染症対策

懸案事項の早期解決、新たな行政課題や市民生活の需要への対応など

12億4,018万円

50億6,207万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた医療体制の強化・拡充 (予算額：1億2,974万円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、発熱患者に適切な医療と検査を提供するため、郡山医師会及び病院等医療機関と連携し、2か所目の発熱外来診療所およびPCRセンターを設置します。

発熱外来診療所の増設・拡充
 施設名 郡山市発熱外来診療所 (仮称)
 施設主体 郡山市
 場所 郡山総合病院内
 診療開始 10月下旬
 運営 平日 月曜日～金曜日 (午後1時～5時)
 予算 6,440万円 医師給与など 2,280万円

PCRセンターの新増設・拡充
 施設名 PCRセンター (仮称)
 施設主体 郡山市医師会
 場所 郡山北第一 郡山総合病院敷地内
 診療開始 10月下旬
 運営 平日 月曜日～金曜日 (午後1時～5時)
 予算 6,534万円 2,280万円

・市有施設の感染防止機能を強化 (予算額：5億3,543万円)

「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づく施設改修のうち、飛沫感染や手指感染の防止に効果のあるトイレの洋式化及び自動洗浄化、空調設備改修等を前倒しで実施し、施設内の新型コロナウイルスの感染防止機能を強化を図ります。

窓口カウンター改修
 感染症の予防及び飛沫感染の防止のため、多くの皆さんが利用する市役所本庁舎1階の窓口カウンターの改修を行います。

トイレの洋式化及び自動洗浄化
 ウイルスの飛沫感染や手指感染の防止のため、トイレ及び手洗いの自動水栓化等を行います。

空調設備改修
 感染症の予防に配慮した施設内の換気性の向上に向け、扇風の設置及び洗浄・換気装置の改修を行います。

・防災重点ため池への水位計の設置 (予算額：3,780万円)

大雨等による越水や決壊等の甚大な被害をもたらす恐れのある防災重点ため池について、その危険性をリアルタイムに把握し、防災・減災につなげるため、水位計等を設置し、市民の安全・安心を確保します。

防災重点ため池 (管理区：94箇所) のこれまでに設置済
 市が管理する全ての防災重点ため池 (94箇所) について「ハザードマップの作成」及び「危険診断」を完了し、危険診断の結果に基づき、水位計等の設置を進めています。

【新規】防災重点ため池への水位計等の設置
 ○概要 防災重点ため池への水位計及び雨量計などの設置
 ○実施 14箇所
 ○費用
 ・水位の常時監視 (平常時と降雨時の水位変化を把握) ・異常水位の発生の早期検知・対応 (緊急放水等) ・下流域住民への危険情報発信

・郡山スケート場の冷凍機等更新 (予算額：8億3,733万円)

建設から約30年経過し老朽化した郡山スケート場冷凍機設備を更新します。更新に際し、自然冷媒を使用し省エネルギー効果が高い機器を導入し、オゾン層の保護や二酸化炭素の排出抑制により環境負荷の低減を図ります。

更新の必要性
 ・老朽化による故障頻度の増加・緊急対応の停止
 ・冷媒の環境負荷 (破壊オゾン) の低減

更新内容
 ・冷凍機16台更新
 ・室内照明、照明制御機器、電気設備等の更新
 省エネルギー化による環境・コスト削減効果 (10月～2月を寒冷期想定)

項目	更新前	更新後
CO2	228.4 t/年	291.3 t/年
エネルギー (ロス)	2,242 万円/年	1,238 万円/年
	1,006 万円/年	1,006 万円/年

スケジュール
 令和2年10月15日(水)～10月17日(金) 工事期間
 令和2年10月18日(土)～10月20日(月) 閉場期間
 令和2年10月21日(火)～10月23日(木) 再開期間

・各学校で取り組む感染症対策及び学習保障への支援 (予算額：1億950万円)

小・中・義務教育学校において実施する感染症対策や、児童生徒の学びの保障等の取り組みに必要な物品等を、校長の判断により購入できる予算を各学校に配当し、児童生徒が安心して学べる環境のさらなる充実を図ります。

・こおりやまの食とスポーツの振興～企業版ふるさと納税の活用～ (予算額：3,916万円)

企業版ふるさと納税を原資とした「郡山市地方創生応援基金」を活用し、プロスポーツによる地域振興と農業の6次化による地方創生の推進を図ります。

・公共施設等窓口支払いをキャッシュレス化 (予算額：1,723万円)

カウンターレスを目指す窓口業務において、支払いのキャッシュレス化を図ります。

・要介護認定事務にAIを導入 (予算額：386万円)

これまで職員が行っていた要介護認定調査結果の整合性チェックを、全国で初めて、AIの言語処理技術により自動化し、認定の効率性及び正確性の向上を目指します。

・eMAFF(イーマップ)の先行導入 (予算額：137万円)

農業者の利便性の向上と働き方改革を推進するため、県内の市町村に先駆け、「農林水産省共通申請サービス (eMAFF)」の導入を進めます。

9月定例会市政一般質問

要旨

エアコン設置補助制度の創設について

問 生命の危機にも直結する高齢者の熱中症を防ぐためにもエアコンは家庭での必需品といえる。喜多方市では、65歳以上の住民税非課税世帯を対象にエアコン設置の補助制度を実施している。本市でも同様の補助制度を創設すべきと考えるが。



森合 秀行

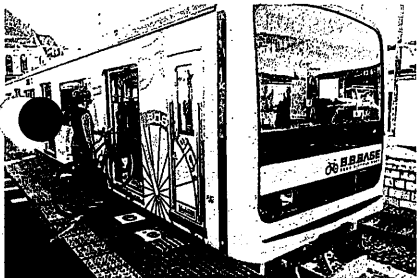


答 本市において本年4月から8月までに熱中症で救急搬送された方の56.9%が65歳以上の高齢者であり、うち、62.9%が屋内で発症している。このことから、エアコンの設置補助制度については、今後、高齢者世帯のエアコンの普及状況や、ニーズ、他市の補助制度の実施状況等を調査し、検討したい。

イクルトレイン実現に向けたJRとの協議について（猪苗代湖を核としたサイクルツーリズム）

問 猪苗代湖一周の自転車による観光をしやすいようにするためにイクルトレイン（注：ロードバイク等自転車を持込み可能な車両）を実現する必要がある。そこで、磐城西線のイクルトレイン実現に向け、JR東日本と協議すべきと考えるが。

答 磐梯熱海温泉を起点としたルートは、峠越えでトンネルもあり、初心者等には安全性確保の面で課題がある。そのため、イクルトレインの活用については、解決策の1つになると考える。今後は、他地域のイクルトレインの観光活用事例を調査・研究した上で、JRとの協議について検討していく。



両国駅（東京）から房総半島を結ぶJR東日本のイクルトレイン「B.B.BASE」

児童生徒に対する活動の制限について

問 郡山市青少年会館で強化練習会に参加していた郡山第一中学校合唱部の生徒から、新型コロナウイルスの陽性反応が確認されたが、今回の件が各種部活動をはじめ、生徒たちの活動を制限することに繋がってはいけないと考えるが、当局の見解を伺う。



佐藤 徹哉



答 各学校において、令和2年5月22日文科科学省発出の衛生管理マニュアルや、本市の部活動指針及び各競技団体や連盟で公表しているガイドラインをふまえて、可能な限りの感染防止対策を講じながら、部活動をはじめ、児童生徒の活動機会が最大限に保障されるよう支援していく。

つながりを重視した地域コミュニティの構築について

問 新型コロナウイルス感染防止に向けた「新しい生活様式」の重要性は十分認識しつつも、コロナ禍においても、従来のつながりを重視した地域コミュニティの構築は重要であると考えているが、当局の見解を伺う。

答 町内会は、地域コミュニティの中核であり、協働のまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしていただいていると認識しており、コロナ禍での町内会活動においては、手洗い、マスク、検温等の「自助」、ソーシャルディスタンス、換気、消毒等の「共助」、町内会活動を支援する「公助」の取組が必要であると考えている。今後においても、「新しい生活様式」に基づいた地域コミュニティ活動についての支援や情報提供に努めていく。

市街化調整区域の見直しについて

問 本市の市街化調整区域の土地利用についてどのような考えなのか。



川前 光徳



答 本市では、一定の要件を満たす区域において、地域コミュニティの維持に必要な新規住民の定住や、小・中学校、鉄道駅、インターチェンジなど、既存ストックの有効活用を目的に、2019年3月に「郡山市市街化調整区域地区計画運用指針」を制定し、現在まで、11件の地区計画の相談を受けている。

また、令和元年東日本台風により、被害を

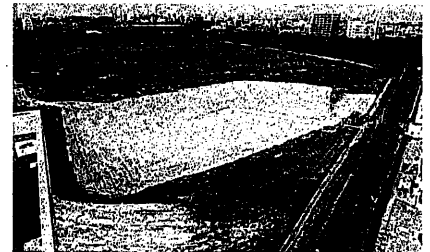
受けた方々の市街化調整区域への移転許可基準を新設し、現在までに26件の移転相談を受けている。都市活用法の更なる活用により、地域コミュニティの維持活性化、および産業振興を図りながら、持続可能な都市を目指していく。

豊田貯水池跡地の利活用について

問 ザ・モール郡山店側の道路に面した地下にある貯水槽（旧第五配水池）を雨水の貯留施設として利用し、成果を上げているが、なぜ公園にすることが、水害対策になるような、誤解を与えるような回答をしたのか。

答 利活用について、本市4月に公表した、旧豊田貯水池利活用方針（案）中間とりまとめでは、下流域の浸水被害の低減や近年の気候変動に対応するため、利活用方針（案）の3つのイメージ図すべてにおいて、自然がもともと持っている力を活用して災害リスクの低減を図る「グリーンインフラ」による雨水の流出抑制機能を提案している。

旧貯水池全体を活用し、透水性舗装、植栽を取り入れたレインガーデン等により、敷地内に降った雨水を緑地に、ゆっくりと浸透させ内水氾濫を抑制するものである。



旧豊田貯水池跡地

道路の樹木について

問 道路の樹木について、枝張りなどで視界や交通の妨げになっているところが市内各所に見受けられる。運送業の方やバス会社などの運行にも支障があると思うが、道路環境整備に関し、道路の樹木対応についての見解は。



久野 三男



答 本市が管理する街路樹のある市道は、186路線、約138kmを有し、その管理を、20の区域に分けて、管理を行っている。街路樹は、都市緑化として温室効果ガスの一つである二酸化炭素の呼吸源として重要な役割を担っていることを踏まえるとともに、車両の運行に支障と

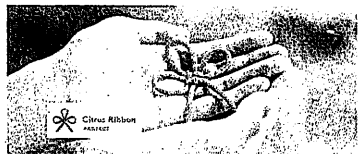


通行の妨げとなっている道路脇の樹木

豆知識

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。



Citrus Ribbon Project

ならないよう、信号や道路標識等の視認性及び道路構造令等を厳守した高さを確保するなど、年間を通して剪定や除草等を実施している。今後も、一般交通や市民生活に支障を及ぼすことのないよう適期の剪定など引き続き、適正な維持管理に努めていく。

災害への対応等について

問 国、県管理の河川の浚渫等について、災害のたびに、国や県に対して強く要望しても、遅々として進まない現状があるが、今後どのように対応していくのが、見解は。

答 あらゆる機会を捉え、国、県に対し早期の実施を強く要望してきたところである。また、本年8月1日には、復旧状況を視察された赤羽国土交通大臣と郡山中央工業団地会との意見交換会において、県土木部長も出席のもと、早期の実施を要望した。

国は、昨年12月に「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を公表し、河道掘削を進めているが、現在は、小和滝橋前後が完了し、その上流の西田地区を実施しており、今年度中には、行合橋から下流区間の河道掘削を実施する予定となっている。県においても、本年2月に「福島県緊急水害対策プロジェクト」を公表し、現在、谷田川や逢瀬川の河道掘削および樹木伐採の早期実施はもとより、国に対して強く要望していく。

土砂の運搬先の確保等に協力していくなど、国、県と連携して治水事業を推進していく。

「市場の朝市」の再開見通しについて

問 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策の一環として、現在「市場の朝市」は中止となっている。利用者の皆様から再開を望む声が上がっているが、これからの「市場の朝市」の再開見通しについて、当局の見解を伺う。

答 本市等における新型コロナウイルスの感染状況を



大城 宏之



再開が待ち望まれる「市場の朝市」

踏まえつつ、毎回数千人の不特定の方が訪れる市場の朝市においては、入場者の体温測定の実施をはじめ、販売時におけるソーシャルディスタンスの確保や、会計の際の接触場面を減らす工夫などの課題も多いことから、再開については、朝市実行委員会の中で慎重に検討していく。

一般家庭用ごみ袋の有料化について

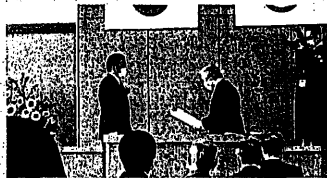
問 SDGsの達成は、私達一人一人の行動変容と密接につながっていると考える。その様な中でレジ袋の有料化がスタートし、その目的が認知されてきている様に思う。そこで、一般家庭用ごみ袋の有料化について実施すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答 ごみの有料化の導入は、ごみの発生抑制や再生利用の促進、市民の皆様の意識改革も期待されることから、ごみの減量に向けた有効な手段の一つと認識しているが、コロナ禍の厳しい社会経済状況を鑑み、引き続き審議会において、実証データ等に基づいて議論いただき、導入するとなれば、様々なプロセスや条件を整備することは勿論、こおりやま広域圏の各市町村の動向や中核市の状況なども参考に多角的に検討し、更なるごみの減量に努めていく。

写真で見ると志翔会

郡山市功労者表彰

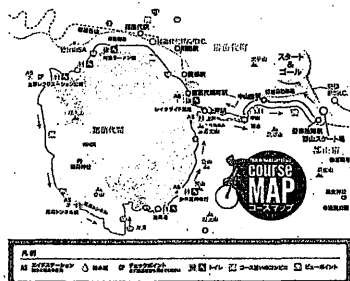
9月1日市役所正庁で、市政に多大な功労があった方を表彰する郡山市功労者表彰が行われました。志翔会関連の受賞者として昨年9月で引退された元市議会議長の内大嘉明元顧問が自治功労表彰、30年間に渡る消防団活動で村上晃一議員（1期）が特別表彰（水災・火災等の防護の功労）を受けました。



品川市長から表彰を受ける内大嘉明元顧問、村上晃一議員

CICLE AID JAPAN2020in郡山ツール・ド・猪苗代湖

10月10日、台風14号が本州へ近づく嵐の中、磐梯熱海スケート場をスタート地点に猪苗代湖を一周する85kmのCICLE AID JAPAN2020in郡山ツール・ド・猪苗代湖が行われました。志翔会からは、会長の川前光徳議員、市監査委員の内内利男議員、広報担当の森合秀行議員が参加しました。非常に強い雨天にもかかわらず、沿道で声援を送る市民の方々、エイドステーションでおもてなしや安全確保のために各ポイントで交通整理をするボランティアスタッフの方々の温かさを感じ3人とも完走しました。今回の経験を踏まえ、コロナ禍で注目されるサイクルツーリズムの普及促進などの政策提言に活かしていきたいと思えます。



最初の給水所である中山エイドステーションにて
(注)大会当日、非常に激しい雨のために画像も乱れていることをお許しください。

インターンシップ生の受入れ

9月定例会中、若者投票率向上を目的とするNPO法人ドットジェイビーのインターンシップ生の大学生2人の受入れをしました。今回は、9月定例会一般質問の傍聴や所属議員の活動の視察等をしてもらいました。今回の研修で、市政や地方議会に関する理解を深めることができたのではないのでしょうか。

【インターンシップ生の志翔会での活動の感想】

- ・倉光三貴人さん（福島大学1年生）
インターンに参加する前、議員は遠い存在のように感じていましたが、議会傍聴の活動で志翔会の議員の方々、郡山市をよりよい場所にしようと奮闘し、郡山市の問題を解決しようと尽力される姿を見て、市民と近い存在だと認識を改めました。初めはあまり話すことができませんでしたが、だんだんと積極的に活動に参加できるようになり、様々なことを学ぶことができました。志翔会の下で議員インターンシップに参加させていただき、ありがとうございました。
- ・木村公香さん（福島大学1年生）
インターンに参加する前と後では議員へのイメージや行政に対する考え方が大きく変わりました。議会傍聴などの活動から市民の声を届けたり、市の向上のため意見したりする姿を拝見し、議員の仕事の様子を学ぶことができました。また、自分の意見や考えをまとめ、伝えることの難しさと大切さを学びました。私たちインターン生を優しく明るく迎え入れて下さる議員の方々のおかげで楽しく2ヶ月間の活動を行うことができました。ありがとうございました。



NPO法人ドットジェイビーのインターン生
左が倉光三貴人さん、右が木村公香さん

各常任委員会から：今定例会の審査状況について

総務財政常任委員会

請願審査では、国に「再審法（刑事訴訟法の最新規定）」の改定を求める意見書提出の請願といった判断が非常に難しい請願審査などがありました。そのほか、当該常任委員会関連の9月補正予算審査、当初予算事業の中からピックアップした事業の進捗状況について各定例会で当局から報告を受けるPDCAサイクルの事業選定などを円滑に行いました。肅々と委員会の審査を行いました。

建設水道常任委員会

請願審査では、逢瀬川の氾濫の危険性の軽減を図るため、旧豊田貯水池を調整池として活用することを求める請願の審査がありました。請願の審査にあたっては、会派会長である川前光徳議員の今定例会での一般質問にあるように、周辺の土地よりも高いところに位置する豊田貯水池を調整池として活用するのは、当局も認めるとおり技術的にもコスト的に非常に困難であるため、賛成少数で否決されました。

環境経済常任委員会

「コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落を阻止するための請願」について審査致しました。様々な意見が出されましたが、採決の結果、部分採択となりました。本会議にて、全事項に対して賛成との討論がありましたが、電子採決により賛成多数で委員長報告の通り部分採択となり、当委員会として、「コロナ禍（新型コロナウイルス感染症）による米需要の減少と在庫増から生じる米価下落を防止するための意見書」を提出し、全会一致で可決致しました。

文教福祉常任委員会

今回は、請願審査は無く、当該常任委員会関連の9月補正予算審査、当初予算事業の中からピックアップした事業の進捗状況について各定例会で当局から報告を受けるPDCAサイクルの事業選定などを円滑に行いました。所管事務調査では、各議員が自分の関心のあるテーマなどについて様々な質問をしていました。
また、議会提案で制定された「郡山市自殺対策基本条例」に基づき、平成31年3月に策定された「郡山市いのちを支える行動計画」の令和元年度の実施状況と評価について当局から報告を受けました。

◆志翔会議員紹介（期数・地区・連絡先・会派役職又は市議会役職・常任委員会）



村上 晃一（1期）
安原町 ☎944-7507
事務局主任・建設水道
広聴広報



森合 秀行（2期）
安積町 ☎953-7885
広報担当・文教福祉
議会運営
広聴広報（委員長）



佐藤 栄作（2期）
富田町 ☎932-2780
事務局長兼政務活動費担当
環境経済（副委員長）
議会運営 広聴広報



佐藤 徹哉（3期）
菜根 ☎923-4485
幹事長兼会派会計
総務財政・議会運営（委員長）



川前 光徳（3期）
堂前町 ☎922-5265
会長兼政調会長・文教福祉



塩田 義智（4期）
三穂田町 ☎945-2015
副会長・総務財政（委員長）
議会運営



近内 利男（4期）
緑ヶ丘 ☎942-7967
市監査委員・環境経済



久野 三男（4期）
方八町 ☎943-3200
副会長・文教福祉（委員長）



佐藤 政喜（4期）
大槻町 ☎951-2316
顧問（前議長）・環境経済



大城 宏之（5期）
安積町 ☎945-6566
副会長・建設水道
議会運営



七海喜久雄（5期）
中田町 ☎922-9587
市議会議長



鈴木 祐治（6期）
田村町 ☎955-2172
顧問（元副議長）・建設水道



日ごとに、涼しくなり過ごしやす季節となりましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込みが立っていない現在、地球温暖化の影響により昨年の令和元年東日本台風のような台風が襲来したらと思うと不安な気持ちになりますが、新しい生活様式の実践や、ハザードマップ等を活用し、避難場所の把握など、改めて普段からの備えが重要だと思えました。私たち志翔会としても、安全・安心なまちづくりの為に更に尽力して参ります。（佐藤栄作）

志翔会だより ■発行責任者：川前光徳 ■編集責任者：森合秀行 ■編集委員：佐藤栄作 村上晃一 <http://www.shishoukai.jp/>

お問い合わせ・ご意見は：〒963-8601 郡山市朝日1-23-7 志翔会 ☎924-2502 へ



支出明細書兼支出証明書

支出番号 17

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 3 広報費	4 広聴費		送料（折込料含む） ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	志翔会だより 発行 新聞折込料				
内 容	志翔会だより 発行				
	志翔会だより VOL15 令和2年9月定例会特集				
	新聞折込料				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R2年10月 23日	(株)坂本印刷所		384.002 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共 通 ㊟					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

年 月 日	担 当 者	伝 票 番 号
2020年10月23日		20102203

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 L-016

株式会社 坂本印刷

代表取締役

T963-0551 福島県郡山市喜多野町4-1
☎(024)959-1234 FAX 024-

毎度ありがとうございます。

■取引銀行 東邦銀行郡山営業部 (営) No.210076 常陽銀行郡山支店 (営) No.705460 七十七銀行郡山支店 (営) No.5059470
東邦銀行郡山中町支店 (営) No.691663 大東銀行富田支店 (営) No.1332164 みずほ銀行郡山支店 (営) No.1371534
郡山信用金庫本店 (営) No.162114 福島銀行開成支店 (営) No.1039499 郵便振替口座02160-6-9928

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考						
志翔会だより vol.15秋号 折込代 (郡山市内全域10/25朝刊)	87,800	部	外10 4.00 円	351,200 円							
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:40%; text-align: right;">合計</td> <td style="width:10%; text-align: center;">税 抜</td> <td style="width:20%; text-align: right;">351,200 円</td> <td style="width:10%; text-align: center;">税 額</td> <td style="width:10%; text-align: right;">35,120 円</td> <td style="width:10%; text-align: right;">総額 ¥386,320 円</td> </tr> </table>						合計	税 抜	351,200 円	税 額	35,120 円	総額 ¥386,320 円
合計	税 抜	351,200 円	税 額	35,120 円	総額 ¥386,320 円						

領 収 証

No. R20102205

2020年10月23日

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 L-016

合計金額 ¥386,320

税抜金額 351,200円 消費税 35,120円

上記の通り正に領収致しました。

内 訳	金 額
現金	386,320
小切手	
振込	
手形	
相殺	
振込手数料	
その他	
合 計	386,320

備考:

手形期日:

手形No.:

摘要:

株式会社 坂本印刷

代表取締役

〒963-0551

福島県郡山市喜多野町4-1

TEL. 024-959-1234 FAX 024-959-

担当者



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$381 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 416,052 \text{ mm}^2 \cdots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} 20 \text{ mm} \times 24 \text{ mm} \times 5 \text{ か所} = 2,400 \text{ mm}^2 \cdots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.6 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 386,320 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.6 \% = 2,318 \text{ 円} \cdots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 386,320 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 384,002 \text{ 円}}}$$

9月定例会市政一般質問

要旨

エアコン設置補助制度の創設について

問 生命の危機にも直結する高齢者の熱中症を防ぐためにもエアコンは家庭での必需品といえる。喜多市では、65歳以上の住民税非課税世帯を対象にエアコン設置の補助制度を実施している。本市でも同様の補助制度を創設すべきと考えるが。



森合 秀行

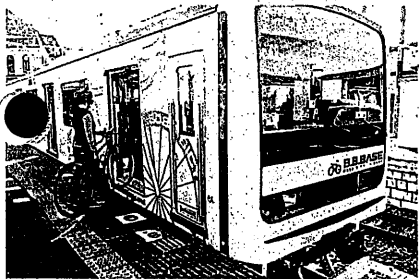


答 本市において本年4月から8月までに熱中症で救急搬送された方の56.9%が65歳以上の高齢者であり、うち、62.9%が屋内で発症している。このことから、エアコンの設置補助制度については、今後、高齢者世帯のエアコンの普及状況や、ニーズ、他市の補助制度の実施状況等を調査し、検討したい。

サイクルトレイン実現に向けたJRとの協議について（猪苗代湖を核としたサイクルツーリズム）

問 猪苗代湖一周の自転車による観光をやすくするためにサイクルトレイン（注：ロードバイク等自転車を分解せず持ち込める車両）を実現する必要がある。そこで、磐越西線のサイクルトレイン実現に向け、JR東日本と協議すべきと考えるが。

答 磐梯熱海温泉を起点としたルートは、峠越えでトンネルもあり、初心者等には安全性確保の面で課題がある。そのため、サイクルトレインの活用については、解決策の1つになると考える。今後は、他地域のサイクルトレインの観光活用事例を調査・研究した上で、JRとの協議について検討していく。



両国駅（東京）から房総半島を結ぶJR東日本のサイクルトレイン「B.B.BASE」

児童生徒に対する活動の制限について

問 郡山市青少年会館で強化練習会に参加していた郡山第一中学校合唱部の生徒から、新型コロナウイルスの陽性反応が確認されたが、今回の件が各種活動をはじめ、生徒たちの活動を制限することに繋がってはいけないと考えるが、当局の見解を伺う。



佐藤 徹哉



答 各学校において、令和2年5月22日文科科学省発出の衛生管理マニュアルや、本市の部活動指針及び各競技団体や連盟で公表しているガイドラインをふまえ、可能な限りの感染防止対策を講じながら、部活動をはじめ、児童生徒の活動機会が最大限に保障されるよう支援していく。

つながりを重視した地域コミュニティの構築について

問 新型コロナウイルス感染防止に向けた「新しい生活様式」の重要性は十分認識しつつも、コロナ禍においても、従来のつながりを重視した地域コミュニティの構築は重要であると考えているが、当局の見解を伺う。

答 町内会は、地域コミュニティの中核であり、協働のまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしていただいていると認識しており、コロナ禍での町内会活動においては、手洗い、マスク、検温等の「自助」、ソーシャルディスタンス、換気、消毒等の「共助」、町内会活動を支援する「公助」の取組が必要であると考えている。今後においても、「新しい生活様式」に基づいた地域コミュニティ活動についての支援や情報提供に努めていく。

市街化調整区域の見直しについて

問 本市の市街化調整区域の土地利用についてどのような考えなのか。



川前 光徳



答 本市では、一定の要件を満たす区域において、地域コミュニティの維持に必要な新規住民の定住や、小・中学校、鉄道駅、インターチェンジなど、既存ストックの有効活用を目的に、2019年3月に「郡山市市街化調整区域地区計画運用指針」を制定し、現在まで、11件の地区計画の相談を受けている。また、令和元年東日本台風により、被害を

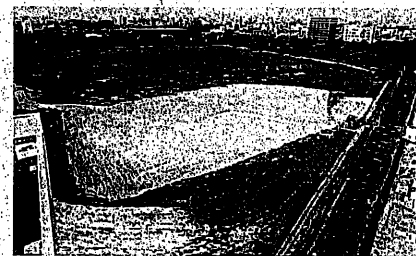
受けた方々の市街化調整区域への移転許可基準を新設し、現在までに26件の移転相談をうけている。都市活用法の更なる活用により、地域コミュニティの維持活性化、および産業振興を図りながら、持続可能な都市を目指していく。

豊田貯水池跡地の利活用について

問 ザ・モール郡山店側の道路に面した地下にある貯水槽（旧第五配水池）を雨水の貯留施設として利用し、成果を上げているが、なぜ公園にすることが、水害対策になるような、誤解を与えるような回答をしたのか。

答 利活用について、本市4月に公表した、旧豊田貯水池利活用方針（案）中間とりまとめでは、下流域の浸水被害の低減や近年の気候変動に対応するため、利活用方針（案）の3つのイメージ図すべてにおいて、自然がもともと持っている力を活用して災害リスクの低減を図る「グリーンインフラ」による雨水の流出抑制機能を提案している。

旧貯水池全体を活用し、透水性舗装、植栽を取り入れたレインガーデン等により、敷地内に降った雨水を緑地に、ゆっくりと浸透させ内水氾濫を抑制するものである。



旧豊田貯水池跡地

道路の樹木について

問 道路の樹木について、枝張りなどで視界や交通の妨げになっているところが市内各所に見受けられる。運送業の方やバス会社などの運行にも支障があると思うが、道路環境整備に関し、道路の樹木対応についての見解は。



久野 三男



答 本市が管理する街路樹のある市道は、186路線、約138kmを有し、その管理を、20の区域に分けて、管理を行っている。街路樹は、都市緑化として温室効果ガスの一つである二酸化炭素の呼吸源として重要な役割を担っていることを踏まえるともに、車両の運行に支障と

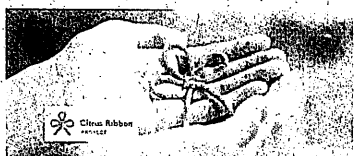


通行の妨げとなっている道路脇の樹木

豆知識

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。「ただいま」「おかえり」といえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる被害も防ぐことができます。



ならないよう、信号や道路標識等の視認性及び道路構造令等を厳守した高さを確保するなど、年間を通して剪定や除草等を実施している。今後も、一般交通や市民生活に支障を及ぼすことのないよう適期の剪定など引き続き、適正な維持管理に努めていく。

災害への対応等について

問 国、県管理の河川の浚渫等について、災害のたびに、国や県に対して強く要望しても、遅々として進まない現状があるが、今後どのように対応していくのか、見解は。

答 あらゆる機会を捉え、国、県に対し早期の実施を強く要望してきたところである。また、本年8月1日には、復旧状況を視察された赤羽国土交通大臣と郡山中央工業団地会との意見交換会において、県土木部長も出席のもと、早期の実施を要望した。

国は、昨年12月に「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を公表し、河道掘削等を進めているが、現在は、小和滝橋前後が完了し、その上流の西田地区を実施しており、今年度中には、行合橋から下流区間の河道掘削を実施する予定となっている。県においても、本年2月に「福島県緊急水害対策プロジェクト」を公表し、現在、谷田川や逢瀬川の河道掘削および樹木伐採の早期実施はもとより、国に対して強く要望していく。

土砂の運搬先の確保等に協力していくなど、国、県と連携して治水事業を推進していく。

「市場の朝市」の再開見通しについて

問 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策の一環として、現在「市場の朝市」は中止となっている。利用者の皆様から再開を望む声が上がっているが、これからの「市場の朝市」の再開見通しについて、当局の見解を伺う。

答 本市等における新型コロナウイルスの感染状況を



大城 宏之



再開が待ち望まれる「市場の朝市」

踏まえつつ、毎回数千人の不特定の方が訪れる市場の朝市においては、入場者の体温測定の実施をはじめ、販売時におけるソーシャルディスタンスの確保や、会計の際の接触場面を減らす工夫などの課題も多いことから、再開については、朝市実行委員会の中で慎重に検討していく。

一般家庭用ごみ袋の有料化について

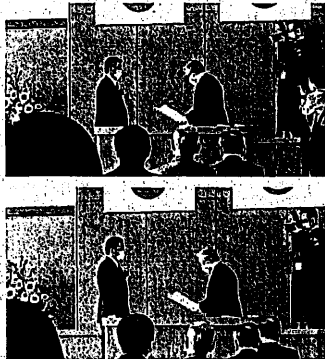
問 SDGsの達成は、私達一人一人の行動変容と密接につながっていると考える。その様な中でレジ袋の有料化がスタートし、その目的が認知されてきている様に思う。そこで、一般家庭用ごみ袋の有料化について実施すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答 ごみの有料化の導入は、ごみの発生抑制や再生利用の促進、市民の皆様意識改革も期待されることから、ごみの減量に向けた有効な手段の一つと認識しているが、コロナ禍の厳しい社会経済状況を鑑み、引き続き審議会において、実証データ等に基づいて議論いただき、導入するとなれば、様々なプロセスや条件を整備することは勿論、こおりやま広域圏の各市町村の動向や中核市の状況なども参考に多角的に検討し、更なるごみの減量に努めていく。

写真で見ると志翔会

郡山市功労者表彰

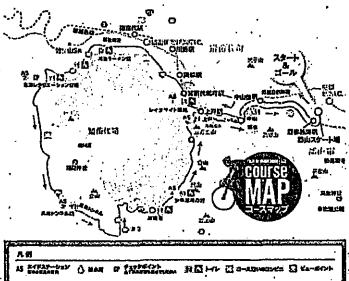
9月1日市役所正庁で、市政に多大な功労があった方を表彰する郡山市功労者表彰が行われました。志翔会関連の受賞者として昨年9月で引退された元市議会議員の大内嘉明元顧問が自治功労表彰、30年間に渡る消防団活動で村上晃一議員（1期）が特別表彰（水災・火災等の防護の功労）を受けました。



品川市長から表彰を受ける大内嘉明元顧問、村上晃一議員

CICLE AID JAPAN2020in郡山ツール・ド・猪苗代湖

10月10日、台風14号が本州へ近づくと風の中、磐梯熱海スケート場をスタート地点に猪苗代湖を一周する85kmのCICLE AID JAPAN2020in郡山ツール・ド・猪苗代湖が行われました。志翔会からは、会長の川前光徳議員、市監査委員の近内利男議員、広報担当の森合秀行議員が参加しました。非常に強い雨天にもかかわらず、沿道で声援を送る市民の方々、エイドステーションでおもてなしや安全確保のために各ポイントで交通整理をするボランティアスタッフの方々の温かさを感じ3人もも完走しました。今回の経験を踏まえ、コロナ禍で注目されるサイクルツーリズムの普及促進などの政策提言に活かしていきたいと思えます。



最初の給水所である中山エイドステーションにて
(注)大会当日、非常に激しい雨のために画像も乱れていることをお許しください。

インターンシップ生の受入れ

9月定例会中、若者投票率向上を目的とするNPO法人ドットジェイビーのインターンシップ生の大学生2人の受入れをしました。今回は、9月定例会一般質問の傍聴や所属議員の活動の視察等をしてもらいました。今回の研修で、市政や地方議会に関する理解を深めることができたのではないのでしょうか。

【インターンシップ生の志翔会での活動の感想】

- 倉光三貴人さん（福島大学1年生）
インターンに参加する前、議員は遠い存在のように感じていましたが、議会傍聴の活動で志翔会の議員の方々、郡山市をよりよい場所にしようと奮闘し、郡山市の問題を解決しようと尽力される姿を見て、市民と近い存在だと認識を改めました。初めはあまり話すことができませんでしたが、だんだんと積極的に活動に参加できるようになり、様々なことを学ぶことができました。志翔会の下で議員インターンシップに参加させていただき、ありがとうございました。
- 木村公香さん（福島大学1年生）
インターンに参加する前と後では議員へのイメージや行政に対する考え方が大きく変わりました。議会傍聴などの活動から市民の声を届けたり、市の向上のため意見したりする姿を拝見し、議員の仕事の様子を学ぶことができました。また、自分の意見や考えをまとめ、伝えることの難しさと大切さを学びました。私たちインターン生を優しく明るく迎え入れて下さる議員の方々のおかげで楽しく2ヶ月間の活動を行うことができました。ありがとうございました。



NPO法人ドットジェイビーのインターン生 左が倉光三貴人さん、右が木村公香さん

各常任委員会から：今定例会の審査状況について

総務財政常任委員会

請願審査では、国に「再審法（刑事訴訟法の最新規定）」の改定を求める意見書提出の請願といった判断が非常に難しい請願審査などがありました。そのほか、当該常任委員会関連の9月補正予算審査、当初予算事業の中からピックアップした事業の進捗状況について各定例会で当局から報告を受けるPDCAサイクルの事業選定などを円滑に行いました。肅々と委員会の審査を行いました。

建設水道常任委員会

請願審査では、逢瀬川の氾濫の危険性の軽減を図るため、旧豊田貯水池を調整池として活用することを求める請願の審査がありました。請願の審査にあたっては、会派会長である川前光徳議員の今定例会での一般質問にあるように、周辺の土地よりも高いところに位置する豊田貯水池を調整池として活用するのは、当局も認めるとおり技術的にもコスト的に非常に困難であるため、賛成少数で否決されました。

環境経済常任委員会

「コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落を阻止するための請願」について審査致しました。様々な意見が出されましたが、採決の結果、部分採択となりました。本会議にて、全事項に対して賛成との討論がありました。電子採決により賛成多数で委員長報告の通り部分採択となり、当委員会として、「コロナ禍（新型コロナウイルス感染症）による米需要の減少と在庫増から生じる米価下落を防止するための意見書」を提出し、全会一致で可決致しました。

文教福祉常任委員会

今回は、請願審査は無く、当該常任委員会関連の9月補正予算審査、当初予算事業の中からピックアップした事業の進捗状況について各定例会で当局から報告を受けるPDCAサイクルの事業選定などを円滑に行いました。所管事務調査では、各議員が自分の関心のあるテーマなどについて様々な質問をしていました。
また、議会提案で制定された「郡山市自殺対策基本条例」に基づき、平成31年3月に策定された「郡山市いのちを支える行動計画」の令和元年度の実施状況と評価について当局から報告を受けました。

◆志翔会議員紹介（期数・地区・連絡先・会派役職又は市議会役職・常任委員会）



村上 晃一（1期）
安原町 ☎944-7507
事務局主任・建設水道
広聴広報



森合 秀行（2期）
安積町 ☎953-7885
広報担当・文教福祉
議会運営
広聴広報（委員長）



佐藤 栄作（2期）
富田町 ☎932-2780
事務局長兼政務活動費担当
環境経済（副委員長）
議会運営 広聴広報



佐藤 徹哉（3期）
菜根 ☎923-4485
幹事長兼会派会計
総務財政・議会運営（委員長）



川前 光徳（3期）
堂前町 ☎922-5265
会長兼政調会長・文教福祉



塩田 義智（4期）
三穂田町 ☎945-2015
副会長・総務財政（委員長）
議会運営



近内 利男（4期）
緑ヶ丘 ☎942-7967
市監査委員・環境経済



久野 三男（4期）
方八町 ☎943-3200
副会長・文教福祉（委員長）



佐藤 政喜（4期）
大槻町 ☎951-2316
顧問（前議長）・環境経済



大城 宏之（5期）
安積町 ☎945-6566
副会長・建設水道
議会運営



七海喜久雄（5期）
中田町 ☎922-9587
市議会議長



鈴木 祐治（6期）
田村町 ☎955-2172
顧問（元副議長）・建設水道

編集後記








日ごとに、涼しくなり過ごしやす季節となりましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込みが立っていない現在、地球温暖化の影響により昨年の令和元年東日本台風のような台風が襲来したらと思うと不安な気持ちになりますが、新しい生活様式の実践や、ハザードマップ等を活用し、避難場所の把握など、改めて普段からの備えが重要だと思えました。私たち志翔会としても、安全・安心なまちづくりの為に更に尽力して参ります。（佐藤栄作）

志翔会だより ■発行責任者：川前光徳 ■編集責任者：森合秀行 ■編集委員：佐藤栄作 村上晃一 <http://www.shishoukai.jp/>

お問い合わせ・ご意見は：〒963-8601 郡山市朝日1-23-7 志翔会 ☎924-2502 へ






支出調書

会派名	志翔会	代表者	経理責任者	起案者	
				川前 光徳 	
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	ホームページ管理料 (2年10月~12月)	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費	図書購入費	法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費	事務用品購入代	備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費	12,050	印刷代	12,050
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費	ガソリン代(4~8月)	電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)	19,706	その他	19,706
支出年月日	R3.1.25   	現金出納簿 支出番号	21	合計	 61,756

支出明細書兼支出証明書

支出番号 21

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		 ウェブページ掲載代 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	広報・情報発信のため				
内 容	ホームページ管理 (10-12月)				
支出年月日	支 出 先	支 出 金 額			
R2年12月5日	有限会社キッズカレッジ	30,000 45,000 円 			
上記のとおり支出します。					
議員氏名					川前 光徳 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No. _____

〒063-0501 北海道札幌市東区南一条二丁目1番1号

有限会社キッズカレッジ

TEL 011-833-1111

★ 45,000

〒063-0501 北海道札幌市東区南一条二丁目1番1号

有限会社キッズカレッジ

R2年12月5日 上記に領収いたしました。

内訳


税抜金額

消費税額等(%)

〒063-0501 北海道札幌市東区南一条二丁目1番1号

有限会社キッズカレッジ


TEL 011-833-1111



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 2/

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		消耗品等事務費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
⑩ 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	資料作成のため				
内 容	インクカートリッジ				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2年11月24日	ヨドバシカメラ郡山店		4,110 円		
上記のとおり支出します。					
					議員氏名 川前 光徳 


領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ヨドバシカメラ

郡山店
電話番号024-931-1010

領 収 書

志翔会 川前光徳様



お問合せセンター番号 5341-1002-434524
2020年11月24日 15時33分

印紙税申告納付につき四谷税務署承認済

販売担当者 XXXXXXXXXX

----- お買上明細 -----

エプソン 4988617193994
ICBK80L 3点 4,110


合 計 4,110
(内消費税 373 含む)

10%対象 4,110
(10%内消費税 373 含む)

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 2/

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		消耗品等事務費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
⑩ 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	資料作成のため				
内 容	インクカートリッジ				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2年12月10日	ヨドバシカメラ郡山店		7,940 円		
上記のとおり支出します。					
					議員氏名 川前 光徳 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ヨドバシカメラ

郡山店
福島県郡山市駅前1-16-7

電話番号024-931-1010

領 収 書

志賀 川前光徳様



お問合せセンター番号 5341-1008-262690 2020年12月10日 14時28分	印紙税申告納 付につき四谷 税務署承認済
---	----------------------------

販売担当者 

----- お買上明細 -----
 エプソン 4988617266858
 ITH-6CL 1点 5,920
 エプソン 4988617266797
 ITH-BK 2点 2,020

合 計 7,940
(内消費税 721 含む)


10%対象 7,940
(10%内消費税 721 含む)

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならない

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書 (自動車燃料費用)

支出番号 2/

区 分		※該当する区分に○印	2年9月支出分
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	
11 通信運搬・自動車燃料費 (自動車燃料費)			
支出目的 (支出事由) ※該当する□をチェック	<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分 (4分の1) 【区分11】		
算定方法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円	
	按 分 (4分の1)	給油総額 <u>27,008</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>6,752</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。	
支出金額			6,752 円
上記のとおり支出します。			議員氏名 川前 光徳 

領 収 証

領収書及

5万円未満	非課税
10万円以下	200円
20万円以下	400円
30万円以下	600円
50万円以下	1,000円
100万円以下	2,000円
200万円以下	4,000円
3,000万円以下	6,000円
5,000万円以下	1万円
1億円以下	2万円
1億円超	4万円
売上代金以外等	200円

年 月 日 領収証No.
 200917 461940

得意先名
 志翔会 川前光徳 様

- ※ 区 分
- 01 現金収入
- 02 振込取
- 03 振込取
- 04 振込取
- 06 振込取
- 07 振込取
- 08 振込取
- 09 振込取
- 10 振込取

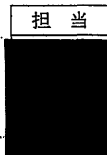
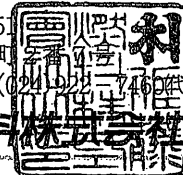
行	金種	金 額	手 形	期 日
1		7,706 円	No. 721	年 月 日
2		X	11/17	
3		X	11/17	
合計		¥7,706		

左記の金額正に領収致しました。

但し、金額を訂正したもの、係印無きものは無効とします。
 消費税等及び軽油税を除く品代金に対応する印紙を貼付する。

(内、消費税等 円)
 (内、軽油税 円)

〒963-8651
 郡山市中町



佐藤燃料株式会社

※複数の

様式No.411100-4

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及



2020/09/01(火)11:38

志翔会 川前光徳様

¥7,042
10%対象 ¥7,042
(内消費税等 ¥640)

上記正に領収しました
No921
但し47.26Lx@149.0代として

※本書保書上のお願い
財布・手帳等にはさずんで保管頂く
場合は、印刷面を内側に折り保管
をお願い致します。

ドトールコーヒーショップ
Enejet 郡山美術館通り店
福島県郡山市向河原町4-6
TEL:024-941-0525

No.3550 担当:0099 郡山美術館
POS番号01
2020/09/01

領 収 証

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1,000円
1,000万円以下	2,000円
2,000万円以下	4,000円
3,000万円以下	6,000円
5,000万円以下	12万円
1億円以下	22万円
1億円超	47万円
売上代金以外等	200円

年 月 日 領収証No
200922 461941

得意先名

志翔会 川前光徳様

- * 区 入金 入金
- 01 現金 入金
- 02 振込 入金
- 03 振込 入金
- 04 振込 入金
- 06 振込 入金
- 07 振込 入金
- 08 振込 入金
- 09 振込 入金
- 10 振込 入金

行	金種	金額	手形	期日
1		5510円	No921	年 月 日
2		*	No921	年 月 日
3			①145円x38	年 月 日
合計		¥5510		

左記の金額正に領収致しました。

但し、金額を訂正したもの、係印無きものは無効とします。消費税等及び軽油税を除く品代金に対応する印紙を貼付する。

(内、消費税等 円)
(内、軽油税 円)

〒963-8651
郡山市中町
佐藤燃料株式会社

担当

様式No 411100-4

領 収 証

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1,000円
1,000万円以下	2,000円
2,000万円以下	4,000円
3,000万円以下	6,000円
5,000万円以下	12万円
1億円以下	22万円
1億円超	47万円
売上代金以外等	200円

年 月 日 領収証No
200929 461942

得意先名

志翔会 川前光徳様

- * 区 入金 入金
- 01 現金 入金
- 02 振込 入金
- 03 振込 入金
- 04 振込 入金
- 06 振込 入金
- 07 振込 入金
- 08 振込 入金
- 09 振込 入金
- 10 振込 入金

行	金種	金額	手形	期日
1		6750円	No921	年 月 日
2		*	No921	年 月 日
3			①138円x48	年 月 日
合計		¥6750		

左記の金額正に領収致しました。

但し、金額を訂正したもの、係印無きものは無効とします。消費税等及び軽油税を除く品代金に対応する印紙を貼付する。

(内、消費税等 円)
(内、軽油税 円)

〒963-8651
郡山市中町
佐藤燃料株式会社


担当


※この領収証は、領収書と同等の効力を持ちます。

様式No 411100-4

支出明細書兼支出証明書（自動車燃料費用）

支出番号 21

区 分			※該当する区分に○印	2年10月支出分
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費		
4 広聴費	5 要請・陳情活動費	6 会議費		
11 通信運搬・自動車燃料費（自動車燃料費）				
支出目的 （支出事由） ※該当する□をチェック	<input type="checkbox"/> 特定使途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分（4分の1） 【区分11】			
算 定 方 法	特定使途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円		
	按分 （4分の1）	給油総額 <u>27,438</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>6,859</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。		
支出金額	6,859 円			
上記のとおり支出します。				
議員氏名 川前 光徳				

領 収 証	コードNo <u>№0037-23</u>
志翔会 川前光徳 様	
金 額	6,859 円
但し <u>1477(0) 140 X 4880 L</u> No.981 上記の金額正に受領致しました	
請求額 ¥	令和 <u>2</u> 年 10 月 16 日
現金 ¥	阿部 鋳 油 株 式 会 社
小切手 ¥	EneJet 郡山インター給油所
約束手形 ¥	〒963-8041 郡山市富田町向作田7-1
	TEL 024-951-2243
	工業製品販売部
	〒963-8061 郡山市富久山町福原字崎
	TEL 024-973-6526
	
	社印及び捺者印無きものは無効です

※社
※印

領 収 証

5万円未満	200円
10万円未満	400円
20万円未満	600円
30万円未満	800円
50万円未満	1,000円
100万円未満	2,000円
200万円未満	4,000円
300万円未満	6,000円
500万円未満	1万円
1億円未満	2万円
1億円以上	4万円
東上代金別等	200円

年 月 日 領収証No.

201007 461943

※ 区分
01 現金収入
02 現振受
03 振込取
04 振込取
06 振込取
07 振込取
08 振込取
09 振込取
10 振込取

得意先名

志翔会 川前光徳

様

行	金種	金額	手形	期日
1		7485	No	927
2		*	1177	
3			②144円×512	
合計		¥7485		

左記の金額正に領収致しました。

但し、金額を訂正したもの、係印無きものは無効とします。消費税等及び軽油税を除く品代金に対応する印紙を貼付する。

(内、消費税等 円)
(内、軽油税 円)

〒963-8651 郡山市中町



様式No. 411100-4

コードNo.

№ 0037-26

領 収 証

志翔会 川前光徳

様

金額	¥ 6 4 1 1	円
----	-----------	---

但し 100円×138 × 46.46L No.921

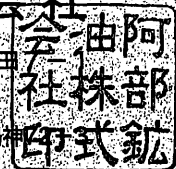
上記の金額正に受領致しました

請求額 ¥ 6411-
現金 ¥
小切手 ¥
約束手形 ¥

令和 2年 10月 22日

阿部鋳油株式会社

EneJet郡山インター給油所
〒963-8041 郡山市喜田町向作田
TEL024-951-2243
工業製品販売部
〒963-8061 郡山市喜久山町福原字鳴神
TEL024-973-6526



コードNo.

№ 0037-25

領 収 証

志翔会 川前光徳

様

金額	¥ 6 7 1 0	円
----	-----------	---

但し 100円×146 × 45.96L No.921

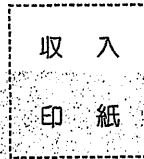
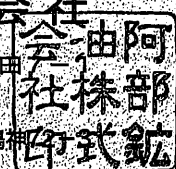
上記の金額正に受領致しました

請求額 ¥ 6710-
現金 ¥
小切手 ¥
約束手形 ¥

令和 2年 10月 27日


阿部鋳油株式会社

EneJet郡山インター給油所
〒963-8041 郡山市喜田町向作田
TEL024-951-2243
工業製品販売部
〒963-8061 郡山市喜久山町福原字鳴神
TEL024-973-6526




支出明細書兼支出証明書（自動車燃料費用）

支出番号 21

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	2年11月支出分
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	
11 通信運搬・自動車燃料費（自動車燃料費）			
支出目的 （支出事由） ※該当する□をチェック	<input type="checkbox"/> 特定使途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分（4分の1） 【区分11】		
算定方法	特定使途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円	
	按分 （4分の1）	給油総額 <u>24,383</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>6,095</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。	
支出金額	6,095 円		
上記のとおり支出します。			
			議員氏名 川前 光徳 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



領収書

2020/11/01(日)08:56

志保会川前光徳様

¥6,358


10%対象 ¥6,358

(内消費税等 ¥578)

上記正に領収しました

(No.921) 44,171 代として

但し、△印は領収書として



※本書保管上のお願。領収書は必ずで保管頂く
財布・手帳等には必ず領収書を折り保管
場合は、印紙面を印刷し折り保管
をお願い致します。
ドトールコーヒーションヨップ
EneJet郡山美術館通り店
福島県郡山市向河原町4-65
TEL:024-941-0525

No.0307 担当:0001

POS番号01

2020/11/01

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領収書等整理票

No 0037-24

領収証

志翔会川前光徳様

金額	¥ 6,386	円
----	---------	---

但し 11/27(木) KOX45.09L NO921
上記の金額正に受領致しました

令和 2年 11月 8日

請求額 ¥ 6,386
現金 ¥
小切手 ¥
約束手形 ¥

収入印紙

阿部鋳油株式会社
Enejet郡山インター給油所
〒963-8041 郡山市富田町向作
TEL:024-951-2243
工業製品販売部
〒963-8061 郡山市富久山町福原字
TEL:024-973-6526

社印及び教育印等
きものは無効です

Enejet
燃料会社
領収書

2020/11/19(木)10:24

志翔会川前光徳様

金額 ¥6,386

10%対象 ¥6,386
(内消費税等 ¥580)

上記正に領収しました
(No. 921)

但し 11/27(木) K3 x 44.66L 代として

※本欄保管上のお願い
財布・手帳等に保管はしないでください
場合は、印刷面内側に折り保管
をお願い致します。
DCS エン
郡山美術印刷店
ドトールコーポレーション
Enejet郡山美術館通り店
福島県郡山市向河原町4-65
TEL:024-941-0525

No. 6156 担当:0001
POS番号:01
2020/11/19

領収証

5万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1,000円
1,000万円以下	2,000円
2,000万円以下	4,000円
3,000万円以下	6,000円
5,000万円以下	1万円
1億円以下	2万円
1億円超	3万円
売上代金引当等	200円

年 月 日 領収証No

20 11 27 461944

得意先名
志翔会川前光徳様

※ 区分
01 現金形殺料金手替
02 入金
03 入金
04 振込
05 振込
06 振込
07 振込
08 振込
09 振込
10 振込

行	金額	手形	期日
1	5,326	No. 921	
2	X	11/27	
3		10/30 X 38	
合計	¥5,326		

左記の金額正に領収致しました。

但し、金額を訂正したものの、係印無きものは無効とします。
消費税等及び軽油税を除く品代金に対応する印紙を貼付する。

〒963-8651 郡山市中町




(内、消費税等) 円
(内、軽油税) 円

担当

株式会社 佐藤燃料

様式No 411100-4

支出調書

会派名	志翔会	代表者	経理責任者	起案者	
				森合 秀行 	
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	志翔会だより VOL.16 令和2年12月定例会特集 印刷代、新聞折込料	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)	382,305	報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)	392,927	ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	R3年1月25日	現金出納簿 支出番号	ZZ	合計	775,232

支出明細書兼支出証明書

支出番号 22

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		広報誌(紙) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	志翔会だより 発行 印刷代				
内 容	志翔会だより 発行				
	志翔会だより VOL16 令和2年12月定例会特集				
	印刷代				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
R3年 1 月 15 日	(株)坂本印刷所		282,305 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共 通 (印)					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

年 月 日	担 当 者	伝 票 番 号
2021年01月15日		21011506

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 し-016

株式会社 坂本印刷

代表取締役

〒963-0551 福島県郡山市喜久野町4
☎(024)959-1234 FAX 024-959-1234

■取引銀行 東邦銀行郡山営業部 (当) No.210076 常陽銀行郡山支店 (当) No.705460 七十七銀行郡山支店 (当) No.5059470
東邦銀行郡山中町支店 (当) No.691663 大東銀行郡田支店 (当) No.1332164 みずほ銀行郡山支店 (当) No.1371534
郡山信用金庫本店 (当) No.162114 福島銀行開成支店 (当) No.1039499 郵便振替口座02160-6-9928

毎度ありがとうございます。

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
志翔会だより (Vol.16, 冬号) 折込83500枚+手配り1500枚	85,000	部 外10	円	円 350,000	
摘要	合計	税 抜	350,000	税 額 35,000	総 額 円 ¥385,000

領 収 証

No. R21011502

2021年01月15日

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 し-016

合計金額 ¥385,000
税抜金額 350,000円 消費税 35,000円

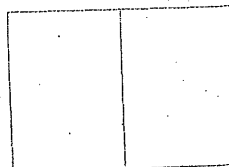
上記の通り正に領収致しました。

株式会社 坂本印刷
代表取締役 坂本 敏夫
〒963-0551
福島県郡山市喜久野町4
TEL. 024-959-1234 FAX 024-959-1234
担当者

内 訳	金 額
現金	385,000
小切手	
振込	
手形	
相殺	
振込手数料	
その他	
合 計	385,000

備考:

手形期日:
手形No. :
摘要:



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$381 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 416,052 \text{ mm}^2 \dots \text{i}$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} 20 \text{ mm} \times 24 \text{ mm} \times 6 \text{ か所} = 2,880 \text{ mm}^2 \dots \text{ii}$$

3 按分割合

$$\text{ii} \div \text{i} \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.7 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

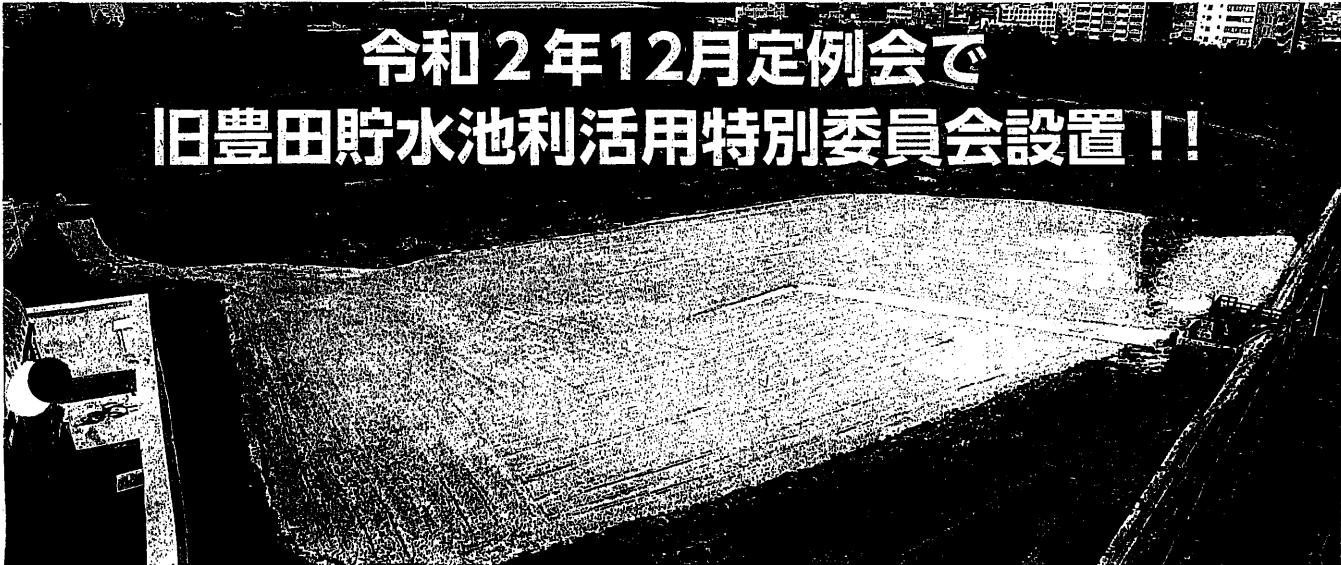
$$\text{支出額 } 385,000 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.7 \% = 2,695 \text{ 円} \dots \text{iii}$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 385,000 \text{ 円} - \text{iii} = \underline{\underline{\text{対象経費 } 382,305 \text{ 円}}}$$

郡山市議会 志翔会 令和2年12月定例会議会報告

令和2年12月定例会で 旧豊田貯水池利活用特別委員会設置！！



381 mm

定例会の概要

令和2年12月定例会は、令和2年12月2日に開会し、当局から提案された議案について全て可決し、12月17日に閉会しました。

可決された12月補正予算の主な内容

1 感染症拡大防止策と医療提供体制の整備 新型コロナウイルス感染症対策の拡充 9,000万円

<p>PCR検査機 200台/日 × 172日分 費用 3,200万円 業務の代行を要する</p>	<p>行政体分科課長を補助 1万円/人/日 × 705万円</p> <p>入庫検査費と日数に応じて補助 1万円/入庫1日 × 4,400万円</p> <p>感染症対策の取り組みを 405万円</p> <p>感染症発生が想定であった場合 の緊急対応を補助 5万円/施設/患者1人 × 405万円</p> <p>感染症発生が想定であった場合 の緊急対応を補助 5万円/施設/患者1人 × 405万円</p>
---	---

市有施設の感染症防止機能を強化 1億3,482万円

<p>大浴場の手洗機 O手洗機設置設置 ふたの自動開閉・乾燥・消毒液スプレー</p>	<p>O手洗機設置設置 ふたの自動開閉・乾燥・消毒液スプレー</p>
<p>O公共施設のトイレ洋式化率 67.2% → 72.5%</p>	<p>O水栓ハンドルを自動水栓化</p>

3 強靱な経済構造の構築 光ファイバ網未整備地区を解消(中田町柳橋地区) 1億1,669万円

新しい生活様式に対応した取り組みを推進するための基盤整備として、市内で唯一未整備の中田町柳橋地区に光ファイバ回線を整備し、郡山全域のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進します。

1. 事業概要

経済省「高度無線環境整備推進事業」の補助金を活用し、中田町柳橋地区に光ファイバ回線を整備します。
柳橋地区は既設敷設方式、市は既設道路等事業に補助金を交付。

事業対象地域(柳橋地区)
中田町柳橋地区のサービスエリアを対象とする。

中田町柳橋、牛橋本町、黒木、永田沢、柳橋、下枝、中野川

841世帯 (R2.1.1策定)

2. 事業期間

開始 2020年(令和2年)12月 → 完成 2022年(令和4年)3月
施工工事の進捗等により、完成が早まる場合もある。

2. 整備内容

教室・公民館・事務所等で、光ブロードバンドサービスが利用可能となります。
5GやIoTなどの技術を利用し、農業・観光・防災・医療分野でのDX推進の基盤インフラとなります。

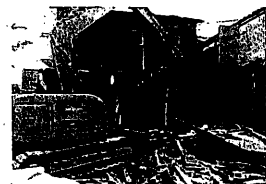
2 雇用の維持と事業の継続

学校給食費への財政支援による保護者負担軽減の延長 1億3,808万円

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、児童・生徒の各家庭の負担軽減を図るため、財政支援による給食費の2分の1の軽減を2学期に引き続き3学期も継続して実施します。

4 気候変動対応型まちづくりの推進 損壊家屋等の解体・撤去 2億6,236万円

令和元年東日本台風により被災した家屋等の解体・撤去を実施し、年度内の完了を目指します。



12月定例会市政一般質問

要旨

来年度における幹線道路整備の進捗状況について

問 来年度における東部地区の幹線道路整備の見直しはどのようになっているのか。

答 内環状線（第3期区）の500m区間では、引き続き、用地取得及び物件補償を進める外、今年度、用地協力いただいた区間約280mの側溝整備等を予定。また、西田町大田地区の大田2号線では、80m区間の道路改良工事を、郡山中央工業団地内の金屋水門町2号線では、今年度整備箇所から南側部分の整備を予定しており、引き続き、国の社会資本整備総合交付金を最大活用しながら早期完成を目指す。



村上 晃一



町内会等からの道路整備の要望への対応について

問 市に対しては、町内会から、数多くの要望が出されているが、特に、市道の新設や拡張、舗装、道路側溝の整備やフタかけなど、市民生活に直結する生活道路の整備に関する要望は、多数を占めていると思うが、これらの市道整備にかかる要望に対して、どのような考え方で優先順位等を定め、対応しているのか。

答 生活道路は、地域住民が常に利用する道路として、子どもや高齢者、障がい者への配慮や災害等への対応を考慮し、安全で快適な道路であることが求められることから、町内会の合意形成が図られた要望の優先順位を踏まえ、要望箇所の利用状況及び地形、地



非常に危険な東部地区の市道

権者の協力等を考慮し、緊急性、必要性等の観点で総合的に判断し、計画的に道路整備を進めている。

エッセン市との連携について

問 現在ドイツでは、再生可能エネルギー由来の電力を利用し水を電気分解して生成されるグリーン水素で世界の水素利用の牽引役を目指しており、水素社会構築に向けた取組みが加速していることから、エッセン市と水素分野で更に連携を強化していくべきと考えるが、当局の見解を伺う。



佐藤 栄作



答 本年10月に実施したウェブミーティングにおいて、エッセン市の水素コンサルタント会社や、大手ガス・水・電気供給会社が、FREAの水素関連施設や実証技術に関心を示し、具体的な連携についての検討がなされていると伺っている。今後においても、「郡山市水素利活用推進研究会」の活動等と連動させながら、両市の企業間連携にもつながるような取組みを促進していく。

先進的農業分野におけるオランダとの連携について

問 世界で農業のIT化いわゆる「スマートアグリ」の先進地といえばオランダだが、本市の農業活性化に繋げるには、オランダと先進的農業分野において連携を図るべきだと思いが、当局の見解を伺う。

答 本年11月には、駐日オランダ大使館主催によるオンライン・セミナーにおいて、環境制御技術によるハウス栽培の持続可能性や収益性向上などについて、情報の収集に努めたところである。今後においても、東京農工大学、福島大学、県農業総合センター並びに農研機構等の研究機関と連携して、先進的農業分野であるスマート農業の推進に努めていきたい。



世界一の農業大学であるオランダのワーヘニンゲン大学

今回改定された郡山市人口ビジョンについて…目標の上方修正について

問 政策の前倒しにより、人口33万人を維持するという目標に上方修正すべきと考えるが。

答 今後においては、2020年国勢調査の結果を踏まえた国の長期ビジョンの見直しに合わせ、本市の人口ビジョンについても、柔軟に見直す。



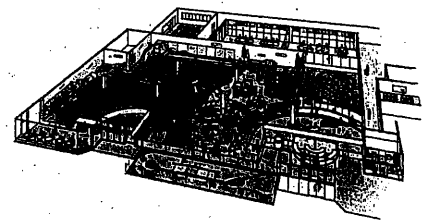
川前 光徳



PEP Kids Koriyamaの今後の運営について…存在意義について

問 ゲームやスマホなどの手軽な、メディアが深く浸透している子供の日常に、安心して遊べる場所と時間を確保することは、郡山市の子育てにとって重要であり、PEP Kids Koriyamaの存在は、それを果たすための重要な施設と考えるが、見解は。

答 子供は遊びながら運動する習慣を身につけるものであるが、少子化・核家族化により、子供同士の関係が希薄化していることに加え、都市化により子供が遊べる広場等も減少するなど、子供を取り巻く環境も変化しており、安全で安心な遊び場が以前より求められている状況にある。こうしたことから、ベップキッズこおりやまをはじめとした屋内遊び場の重要性は高まっているものと考えており、子供たちが楽しみながら安全に運動できる環境として、また、子供や親同士のコミュニケーションの場としても、本市の子育て支援に必要な施設と捉えている。



PEP Kids Koriyamaの室内

品川市政のキーワード・キャッチフレーズについて…分りやすい予算資料について

問 令和3年3月定例会においては、市民に分りやすい予算資料を改めて示して欲しいと思うが、見解は。

答 予算資料の作成にあたっては、3月定例会に市民が見た際、自身の生活とどのように関連するのか等の視点



塩田 義智

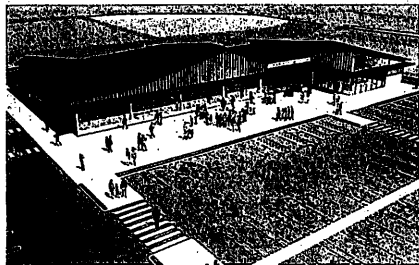


で、さらにカイゼンを加えた資料を示したい。

三穂田町の諸課題について… 郡山南インターチェンジ周辺の開発について

問 JA福島ざくらがカルチャーパーク南側に整備を進めている農産物直売所の開設が、大型ショッピングモールの誘致についても、今後の取り組みに何らかの好影響を与えるのか、見解は。

答 農産物直売所は、都市計画法第34条第9号における沿道サービス施設として開設されるもので、大型商業施設の立地に関する都市計画法や農業振興地域の整備に関する法律などに、何らかの動きがあったわけではない。しかしながら、本地域は、多様なポテンシャルを有するエリアであり、2019年に策定した「こおりやま産業持続・発展ビジョン」では、「交通アクセスを生かした拠点」等を有したエリアとして分類した。今後は、先行している他地域の市街化調整区域における大型商業施設の開発動向等も注視し、当該のポテンシャルが十分に活かせるよう、取り組んでいきたい。



カルチャーパーク南側に3月完成予定の農産物直売所「あぐりあ」

自然災害や新型コロナウイルス感染症から市民生活を守るために…飲食店の従業員等に対するPCR検査について

問 本市では郡山駅周辺の飲食店の従業員等に対するPCR検査を無料で実施しているが、飲食店、繁華街は他地区にもあり、今後のPCR検査体制及び飲食店関係者に対する啓発については。



近内 利男



答 令和3年1月から2月までに、郡山市内全域のキャバレー、クラブ、バー、スナックなど接客時間が長い4業態約610店舗の従業員を対象とするPCR検査を実施する予定である。

住宅政策について…市街化調整区域における空き家対策について

問 空き家に付随した農地の取得条件の緩和を示した農業委員会の取り組みと連携さ

せ、賃貸住宅への用途変更を認めることで、住宅政策、空き家対策が大きく前進すると思うが、見解は。

答 農業後継者不足等により、市街化調整区域においても、空き家の増加が考えられることから、地域住民のコミュニティ維持が図られるよう、農業委員会や関連部局との連携を含め、賃貸住宅の許可基準について、検討していく。



地球温暖化の脅威と郡山市の施策について…被災者支援について

問 品川市長は、9月定例会の「都市計画マスタープランや立地適正化計画の見直し」の質問に「災害リスクの低いエリアへ住宅及び都市機能増進施設を誘導していく」と答弁しているが、形だけでなく、被害者の心に寄り添った施策を実施すべきと考えるが、見解は。



佐藤 政喜



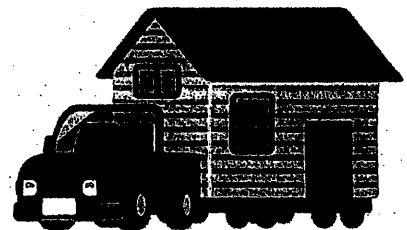
答 防災指針の作成を含む立地適正化計画の見直しについては、12月から、国の補助事業による「居住機能の移転促進に向けた調査業務委託」において、被害に遭われた市民を対象にアンケートを実施し、様々な意見

を何うとともに、災害ハザードエリアからの移転促進に向けた事業など、あらゆる支援事業に対し、国の技術的助言を得ながら、市民が安全・安心に暮らせるよう、まちづくりに関わる防災・減災対策が向上する施策について、関係機関と連携し検討していく。

自然災害対策のトレーラーハウスの活用について

問 連携中枢都市圏の16市町村が、財政規模に合わせてトレーラーハウスを導入し、災害のあった市町村に移動して避難所として活用すれば、1自治体の負担も軽減される。さらにコロナ禍の状況下、避難所の3密を回避するためにもトレーラーハウスの導入を検討すべきと考えるが、見解は。

答 短時間に仮設住宅が整備されるなど、被災者支援の1つとして有効である。しかし、平時における利用方法や保管場所、けん引車両及び運転する人材の確保などが必要である。また、倉敷市の活用事例ではトレーラー1台あたり1世帯の入居としており、災害時においては、多くのトレーラーが必要となるなどの課題もあり、導入自治体の状況等について調査、研究していく。



トピックス 旧豊田貯水池活用特別委員会設置

令和2年3月会長会において、旧豊田貯水池活用方針案（中間とりまとめ）として当局からは現状維持に近い3つの案が提示されました。しかしながら、3つの案に対し各党派から様々な意見が出されました。

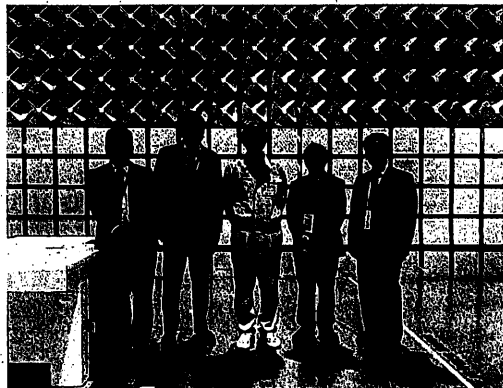
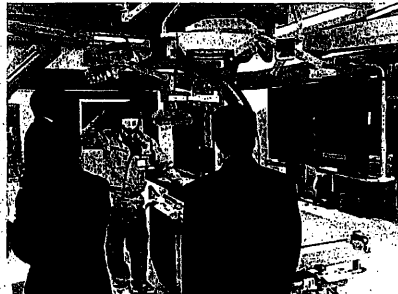
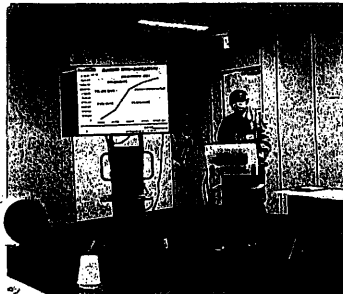
そこで、平成29年12月に設置された議会改革特別委員会における決定に基づき設置された政策等調査検討会でこの問題について令和2年6月～11月の期間に6回に渡って審議しました。審議の結果、①市民ニーズを把握しながら決定することが必要であり、結論を急ぐべきではない、②浄水場跡地を駐車場として暫定利用を行う必要があること、③議会からの意見を提言することができるよう特別委員会を設置し、審議する必要があるという3つの検討結果が出されました。

検討結果に基づき、12月定例会最終日である令和2年12月17日に旧豊田貯水池活用特別委員会が設置されました。旧豊田貯水池が、中心市街地活性化に寄与し、さらには市民の皆さまの意見も反映できるよう志翔会でも幅広く議論して参ります。

写真で見る志翔会

令和2年11月20日、富田町にある医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する「ふくしま医療機器開発支援センター」を視察しました。センター長を務める滝澤眞己氏から施設の概要や平成28年11月の開所から現在までの経過について説明を受けた後、模擬手術を行うアンギオハイブリッド手術室や電磁波の測定などを行う10m法電波暗室などの各施設を見学しました。センター開設当初は、事業収入の不足が大きな問題となりましたが、生物試験や電気試験などに対応する国際認証の取得など信頼の確保によって、県内外の医療機器メーカー約100社が利用し、7割がリピーターとなり事業収入も年々伸びているとのことでした。

本市では、「メディカルヒルズ郡山基本構想2.0」を掲げており、センター周辺の旧県農業試験場跡地を中心とする市街化調整区域（約30ha）において、医療機器関連産業分野を中心とする新たな産業の集積拠点を目指しています。今後、県と連携を図りながら医療機器関連のベンチャー企業の誘致等で雇用の創出を図るといった本市経済の活性化の必要性を感じました。



◆志翔会議員紹介 (期数・地区・連絡先・市議会役職・常任委員会)



村上 晃一 (1期)
安積町 ☎944-7507
建設水道
広聴広報



森合 秀行 (2期)
安積町 ☎953-7885
文教福祉
議会運営
広聴広報(委員長)



佐藤 栄作 (2期)
富田町 ☎932-2780
環境経済(副委員長)
議会運営 広聴広報
旧豊田貯水池利活用特別委員会(副委員長)



佐藤 徹哉 (3期)
菜根 ☎923-4485
総務財政・議会運営(委員長)
旧豊田貯水池利活用特別委員会



川前 光徳 (3期)
堂前町 ☎922-5265
文教福祉



塩田 義智 (4期)
三穂田町 ☎945-2015
総務財政(委員長)
議会運営



近内 利男 (4期)
緑ヶ丘 ☎942-7967
市監査委員・環境経済



久野 三男 (4期)
方八町 ☎943-3200
文教福祉(委員長)
旧豊田貯水池利活用特別委員会



佐藤 政喜 (4期)
大槻町 ☎951-2316
(前議長)・環境経済



大城 宏之 (5期)
安積町 ☎945-6566
建設水道
議会運営



七海喜久雄 (5期)
中田町 ☎922-9587
市議会議長



鈴木 祐治 (6期)
田村町 ☎955-2172
(元副議長)・建設水道



コロナ禍の状況下、先行きが不透明で陰鬱な日々です。しかし、そんな時だからこそ正確な情報を的確に捉えるように努め、現在そして未来の郡山のすがたや市民に開かれた議会のあり方について、主体的に考え行動できるよう焦らず、深くじっくり考え、粘り強く課題解決を目指して参りたいと思います。(森合 秀行)

志翔会だより ■ 発行：志翔会 ■ 編集責任者：森合秀行 ■ 編集委員：佐藤栄作 村上晃一 <http://www.shishoukai.jp/>

お問い合わせ・ご意見は：☎963-8601 郡山市朝日1-23-7 志翔会 ☎924-2502へ



支出明細書兼支出証明書

支出番号 22

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 3 広報費	4 広聴費		送料（折込料含む） ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 （支出事由）	志翔会だより 発行 新聞折込料				
内 容	志翔会だより 発行				
	志翔会だより VOL16 令和2年12月定例会特集				
	新聞折込料				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
R3年1月 15日	(株)坂本印刷所			292,927 円	
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共 通 印					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

年 月 日	担 当 者	伝 票 番 号
2021年01月15日		21011507

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 し-016

株式会社坂本印刷
代表取締役
〒963-0551 福島県郡山市喜入町喜入4
☎(024)959-1234 FAX 024-

■取引銀行 東邦銀行郡山営業部 (☎) No.210076 常陽銀行郡山支店 (☎) No.705460 七十七銀行郡山支店 (☎) No.5059470
東邦銀行郡山中町支店 (☎) No.691663 大東銀行富田支店 (☎) No.1332164 みずほ銀行郡山支店 (☎) No.1371534
郡山信用金庫本店 (☎) No.162114 福島銀行開成支店 (☎) No.1039499 郵便振替口座02160-6-9928

度ありがとうございます。

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
志翔会だより (Vol.16, 冬号) 折込代 (郡山市内全域1/17朝刊予定)	85,000	部					
読売新聞専売店	32,050	部 外10	4.00	128,200			
読売新聞専売店除く販売店	51,450	部 外10	4.50	231,525			
摘要	合計	税 抜	359,725 円	税 額	35,972 円	総 額	¥395,697 円

領 収 証

No. R21011503
2021年01月15日

郡山市議会 志翔会 御中

お客様番号 し-016

合計金額	¥395,697
税抜金額	359,725円
消費税	35,972円

上記の通り正に領収致しました。

内 訳	金 額
現金	395,697
小切手	
振込	
手形	
相殺	
振込手数料	
その他	
合 計	395,697

備考:

手形期日:
手形No.:
摘要:

株式会社坂本印刷
代表取締役 坂本 敏亮
〒963-0551
福島県郡山市喜入町喜入4
TEL. 024-959-1234 FAX 024-959-



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$381 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 416,052 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

$$\textcircled{1} 20 \text{ mm} \times 24 \text{ mm} \times 6 \text{ か所} = 2,880 \text{ mm}^2 \dots ii$$

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率 } 0.7 \% \text{ (小数点第2切り上げ)}$$

4 対象経費算出

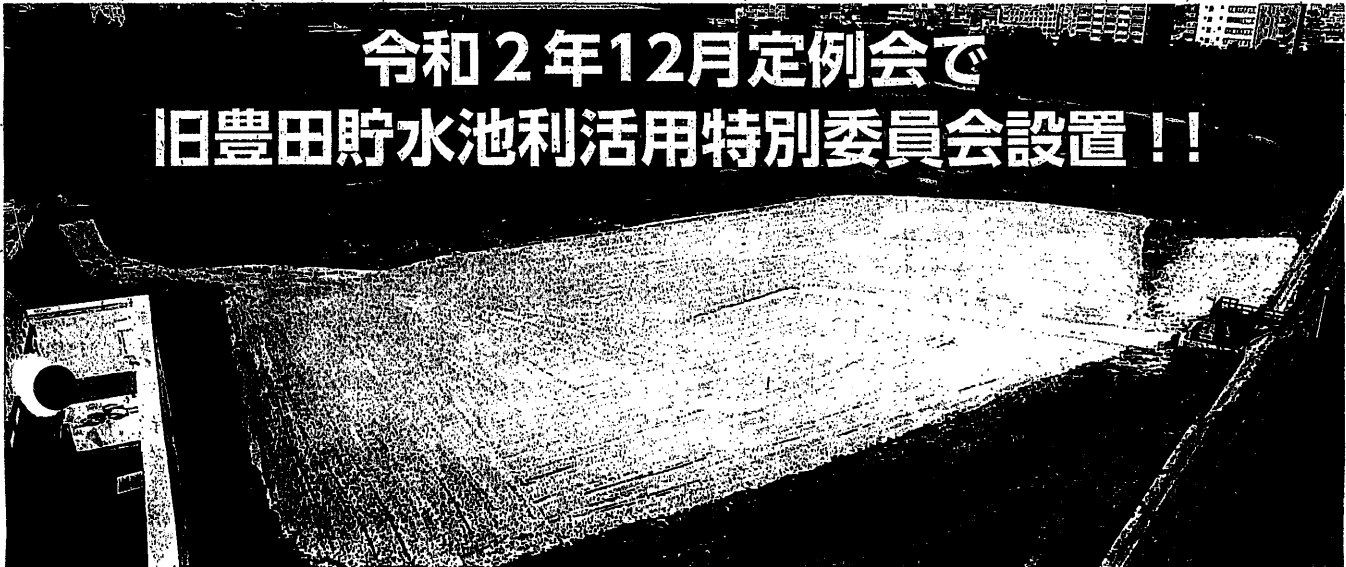
$$\text{支出額 } 395,697 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0.7 \% = 2,770 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 395,697 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 392,927 \text{ 円}}}$$

郡山市議会 志翔会 令和2年12月定例会議会報告

令和2年12月定例会で 旧豊田貯水池利活用特別委員会設置！！



381 mm

定例会の概要

令和2年12月定例会は、令和2年12月2日に開会し、当局から提案された議案について全て可決し、12月17日に閉会しました。

可決された12月補正予算の主な内容

1 感染症拡大防止策と医療提供体制の整備

新型コロナウイルス感染症対策の拡充 9,000万円

<p>PCR検査機</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p>	<p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p> <p>PCR検査機1台120万円</p>
--	---

市有施設の感染症防止機能を強化 1億3,482万円

<p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p>	<p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p> <p>5G無線LAN</p>
--	--

2 雇用の維持と事業の継続

学校給食費への財政支援による保護者負担軽減の延長 1億3,808万円

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、児童・生徒の各家庭の負担軽減を図るため、財政支援による給食費の2分の1の軽減を2学期に引き続き3学期も継続して実施します。

3 強靱な経済構造の構築

光ファイバ網未整備地区を解消(中田町柳橋地区) 1億1,669万円

新しい生活様式に対応した取り組みを推進するための基盤整備として、市内で唯一未整備の中田町柳橋地区に光ファイバ回線を整備し、郡山全域のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進します。

<p>1. 経費</p> <p>経費省「高速道路環境整備推進費」の補助金を活用し、中田町柳橋地区に光ファイバ回線を整備します。</p> <p>※事業費は当該地区から、市は民間事業者等に補助金を交付。</p>	<p>2. 効果</p> <p>教育・公共施設・事業所等で、光ブロードバンドサービスが利用可能となります。</p> <p>5GやIoTなどの技術を利用し、農業・観光・防災・医療分野等のDX推進の基盤インフラとなります。</p>
---	---

4 気候変動対応型まちづくりの推進

損壊家屋等の解体・撤去 2億6,236万円

令和元年東日本台風により被災した家屋等の解体・撤去を実施し、年度内の完了を目指します。



12月定例会市政一般質問

要旨

来年度における幹線道路整備の進捗状況について

問 来年度における東部地区の幹線道路整備の見直しはどのようになっているのか。

答 内環状線（第3期工区）の500m区間では、引き続き、用地取得及び物件補償を進める外、今年度、用地協力いただいた区間約280mの側溝整備等を予定。また、西田町大田地区の大田2号線では、80m区間の道路改良工事を、郡山中央工業団地内の金屋水門町2号線では、今年度整備箇所から南側部分の整備を予定しており、引き続き、国の社会資本整備総合交付金を最大活用しながら早期完成を目指す。



村上 晃一



町内会等からの道路整備の要望への対応について

問 市に対しては、町内会から、数多くの要望が出されているが、特に、市道の新設や拡張、舗装、道路側溝の整備やフタかけなど、市民生活に直結する生活道路の整備に関する要望は、多数を占めていると思うが、これらの市道整備にかかる要望に対して、どのような考え方で優先順位等を定め、対応しているのか。

答 生活道路は、地域住民が常に利用する道路として、子どもや高齢者、障がい者への配慮や災害等への対応を考慮し、安全で快適な道路であることが求められることから、町内会の合意形成が図られた要望の優先順位を踏まえ、要望箇所の利用状況及び地形、地



非常に危険な東部地区の市道

権者の協力等を考慮し、緊急性、必要性等の観点で総合的に判断し、計画的に道路整備を進めている。

エッセン市との連携について

問 現在ドイツでは、再生可能エネルギー由来の電力を利用し水を電気分解して生成されるグリーン水素で世界の水素利用の牽引役を目指しており、水素社会構築に向けた取組みが加速していることから、エッセン市と水素分野で更に連携を強化していくべきと考えるが、当局の見解を伺う。



佐藤 栄作



答 本年10月に実施したウェブミーティングにおいて、エッセン市の水素コンサルタント会社や、大手ガス・水・電気供給公社が、FREAの水素関連施設や実証技術に関心を示し、具体的な連携についての検討がなされていると伺っている。今後においても、「郡山市水素利活用推進研究会」の活動等と連動させながら、両市の企業間連携にもつながるような取組みを促進していく。

先進的農業分野におけるオランダとの連携について

問 世界で農業のIT化いわゆる「スマートアグリ」の先進地といえばオランダだが、本市の農業活性化に繋げるには、オランダと先進的農業分野において連携を図るべきだと思いが、当局の見解を伺う。

答 本年11月には、駐日オランダ大使館主催によるオンライン・セミナーにおいて、環境制御技術によるハウス栽培の持続可能性や収益性向上などについて、情報の収集に努めたところである。今後においても、東京農工大学、福島大学、県農業総合センター並びに農研機構等の研究機関と連携して、先進的農業分野であるスマート農業の推進に努めていきたい。



世界一の農業大学であるオランダのワーヘニンゲン大学

今回改定された郡山市人口ビジョンについて…目標の上方修正について

問 政策の前倒しにより、人口33万人を維持するという目標に上方修正すべきと考えるが。

答 今後においては、2020年国勢調査の結果を踏まえた国の長期ビジョンの見直しに合わせ、本市の人口ビジョンについても、柔軟に見直す。



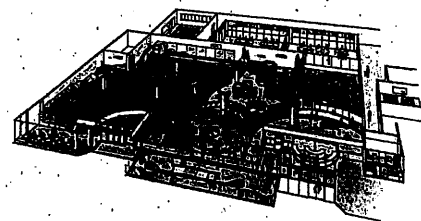
川前 光徳



PEP Kids Koriyamaの今後の運営について…存在意義について

問 ゲームやスマホなどの手軽な、メディアが深く浸透している子供の日常に、安心して遊べる場所と時間を確保することは、郡山市の子育てにとって重要であり、PEP Kids Koriyamaの存在は、それを果たすための重要な施設と考えるが、見解は。

答 子供は遊びながら運動する習慣を身につけるものであるが、少子化・核家族化により、子供同士の関係が希薄化していることに加え、都市化により子供が遊べる広場等も減少するなど、子供を取り巻く環境も変化しており、安全で安心な遊び場が以前より求められている状況にある。こうしたことから、ペップキッズこおりやまをはじめとした屋内遊び場の重要性は高まっているものと考えており、子供たちが楽しみながら安全に運動できる環境として、また、子供や親同士のコミュニケーションの場としても、本市の子育て支援に必要な施設と捉えている。



PEP Kids Koriyamaの室内

品川市政のキーワード・キャッチフレーズについて…分りやすい予算資料について

問 令和3年3月定例会においては、市民に分りやすい予算資料を改めて示して欲しいと思うが、見解は。

答 予算資料の作成にあたっては、3月定例会に市民が見た際、自身の生活とどのように関連するのか等の視点



塩田 義智

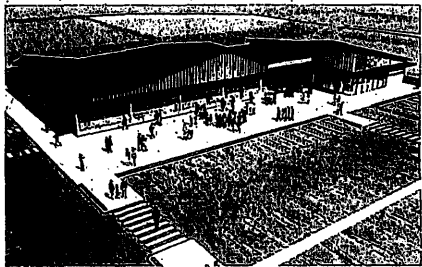


で、さらにカイゼンを加えた資料を示したい。

三穂田町の諸課題について… 郡山南インターチェンジ周辺の開発について

問 JA福島ざくらがカルチャーパーク南側に整備を進めている農産物直売所の開設が、大型ショッピングモールの誘致についても、今後の取り組みに何らかの好影響を与えるのか、見解は。

答 農産物直売所は、都市計画法第34条第9号における沿道サービス施設として開設されるもので、大型商業施設の立地に関する都市計画法や農業振興地域の整備に関する法律などに、何らかの動きがあったわけではない。しかしながら、本地域は、多様なポテンシャルを有するエリアであり、2019年に策定した「こおりやま産業持続・発展ビジョン」では、「交通アクセスを生かした拠点」等を有したエリアとして分類した。今後は、先行している他地域の市街化調整区域における大型商業施設の開発動向等も注視し、当該のポテンシャルが十分に活かせるよう取り組んでいきたい。



カルチャーパーク南側に3月完成予定の農産物直売所「あぐりあ」

自然災害や新型コロナウイルス感染症から市民生活を守るために…飲食店の従業員等に対するPCR検査について

問 本市では郡山駅周辺の飲食店の従業員等に対するPCR検査を無料で実施しているが、飲食店、繁華街は他地区にもあり、今後のPCR検査体制及び飲食店関係者に対する啓発については。



近内 利男



答 令和3年1月から2月までに、郡山市内全域のキャバレー、クラブ、バー、スナックなど接客時間が長い4業態約610店舗の従業員を対象とするPCR検査を実施する予定である。

住宅政策について…市街化調整区域における空き家対策について

問 空き家に付随した農地の取得条件の緩和を示した農業委員会の取り組みと連携さ

せ、賃貸住宅への用途変更を認めることで、住宅政策、空き家対策が大きく前進すると見うが、見解は。

答 農業後継者不足等により、市街化調整区域においても、空き家の増加が考えられることから、地域住民のコミュニティ維持が図られるよう、農業委員会や関連部局との連携を含め、賃貸住宅の許可基準について、検討していく。



地球温暖化の脅威と郡山市の施策について…被災者支援について

問 品川市長は、9月定例会の「都市計画マスタープランや立地適正化計画の見直し」の質問に「災害リスクの低いエリアへ住宅及び都市機能増進施設を誘導していく」と答弁しているが、形だけでなく、被害者の心に寄り添った施策を実施すべきと考えるが、見解は。



佐藤 政喜



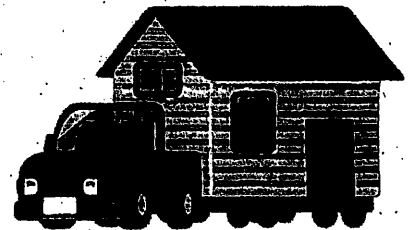
答 防災指針の作成を含む立地適正化計画の見直しについては、12月から、国の補助事業による「居住機能の移転促進に向けた調査業務委託」において、被害に遭われた市民を対象にアンケートを実施し、様々な意見

を伺うとともに、災害ハザードエリアからの移転促進に向けた事業など、あらゆる支援事業に対し、国の技術的助言を得ながら、市民が安全・安心に暮らせるよう、まちづくりに関わる防災・減災対策が向上する施策について、関係機関と連携し検討していく。

自然災害対策のトレーラーハウスの活用について

問 連携中枢都市圏の16市町村が、財政規模に合わせてトレーラーハウスを導入し、災害のあった市町村に移動して避難所として活用すれば、1自治体の負担も軽減される。さらにコロナ禍の状況下、避難所の3密を回避するためにもトレーラーハウスの導入を検討すべきと考えるが、見解は。

答 短時間に仮設住宅が整備されるなど、被災者支援の1つとして有効である。しかし、平時における利用方法や保管場所、けん引車両及び運転する人材の確保などが必要である。また、倉敷市の活用事例ではトレーラー1台あたり1世帯の同居としており、災害時においては、多くのトレーラーが必要となるなどの課題もあり、導入自治体の状況等について調査、研究していく。



トピックス 旧豊田貯水池活用特別委員会設置

令和2年3月会長会において、旧豊田貯水池活用方針案（中間とりまとめ）として当局からは現状維持に近い3つの案が提示されました。しかしながら、3つの案に対し各会派から様々な意見が出されました。

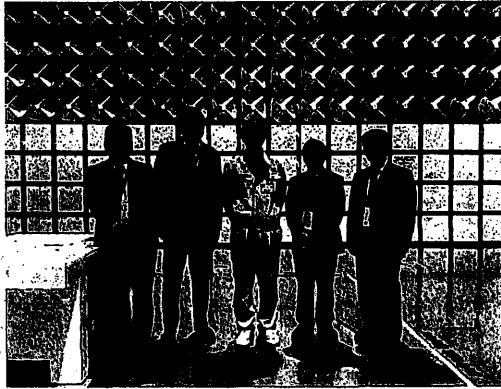
そこで、平成29年12月に設置された議会改革特別委員会における決定に基づき設置された政策等調査検討会でこの問題について令和2年6月～11月の期間に6回に渡って審議しました。審議の結果、①市民ニーズを把握しながら決定することが必要であり、結論を急ぐべきではない、②浄水場跡地を駐車場として暫定利用を行う必要があること、③議会からの意見を提言することができるよう特別委員会を設置し、審議する必要があるという3つの検討結果が出されました。

検討結果に基づき、12月定例会最終日である令和2年12月17日に旧豊田貯水池活用特別委員会が設置されました。旧豊田貯水池が、中心市街地活性化に寄与し、さらには市民の皆さまの意見も反映できるよう志翔会でも幅広く議論して参ります。

写真で見ろ志翔会

令和2年11月20日、富田町にある医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する「ふくしま医療機器開発支援センター」を視察しました。センター長を務める滝澤真己氏から施設の概要や平成28年11月の開所から現在までの経過について説明を受けた後、模擬手術を行うアンギオハイブリッド手術室や電磁波の測定などを行う10m法電波暗室などの各施設を見学しました。センター開設当初は、事業収入の不足が大きな問題となりましたが、生物試験や電気試験などに対応する国際認証の取得など信頼の確保によって、県内外の医療機器メーカー約100社が利用し、7割がリピーターとなり事業収入も年々伸びているとのことでした。

本市では、「メディカルヒルズ郡山基本構想2.0」を掲げており、センター周辺の旧県農業試験場跡地を中心とする市街化調整区域（約30ha）において、医療機器関連産業分野を中心とする新たな産業の集積拠点を目指しています。今後、県と連携を図りながら医療機器関連のベンチャー企業の誘致等で雇用の創出を図るといった本市経済の活性化の必要性を感じました。



◆志翔会議員紹介 (期数・地区・連絡先・市議会役職・常任委員会)



村上 晃一 (1期)
安原町 ☎944-7507
建設水道
広聴広報



森合 秀行 (2期)
安積町 ☎953-7885
文教福祉
議会運営
広聴広報(委員長)



佐藤 栄作 (2期)
富田町 ☎932-2780
環境経済(副委員長)
議会運営 広聴広報
旧豊田貯水池利活用特別委員会(副委員長)



佐藤 徹哉 (3期)
菜根 ☎923-4485
総務財政・議会運営(委員長)
旧豊田貯水池利活用特別委員会



川前 光徳 (3期)
堂前町 ☎922-5265
文教福祉



塩田 義智 (4期)
三穂田町 ☎945-2015
総務財政(委員長)
議会運営



近内 利男 (4期)
緑ヶ丘 ☎942-7967
市監査委員・環境経済



久野 三男 (4期)
方八町 ☎943-3200
文教福祉(委員長)
旧豊田貯水池利活用特別委員会



佐藤 政喜 (4期)
大槻町 ☎951-2316
(前議長)・環境経済



大城 宏之 (5期)
安積町 ☎945-6566
建設水道
議会運営



七海喜久雄 (5期)
中田町 ☎922-9587
市議会議長



鈴木 祐治 (6期)
田村町 ☎955-2172
(元副議長)・建設水道



コロナ禍の状況下、先行きが不透明で陰鬱な日々です。しかし、そんな時だからこそ正確な情報を的確に捉えるように努め、現在そして未来の郡山のすがたや市民に開かれた議会のあり方について、主体的に考え行動できるよう焦らず、深くじっくり考え、粘り強く課題解決を目指して参りたいと思います。
(森合 秀行)

志翔会だより ■発行：志翔会 ■編集責任者：森合秀行 ■編集委員：佐藤栄作 村上晃一 <http://www.shishoukai.jp/>

お問い合わせ・ご意見は：〒963-8601 郡山市朝日1-23-7 志翔会 ☎924-2502 へ

